

レクイエム・・・『鎮魂歌・・・死者の魂を慰める歌』

REQUIEM

Requiem für Chieko von Kohtaro Takamura
Requiem: gewidmet Rey Kamei von M.M.



「今、最も偉大な歌手は誰ですか。」と聞かれたら私は「モンデンモモ」と答えるでしょう。数年前、パリ祭のコンサートで彼女のシャンソンを聞いたときは自分の力を十分出しきっていない事に不満をおぼえ、泣きました。しかし、その頃のモンデンさんの熱狂ぶりには目をみはるばかりです。彼女は自分の歌も歌っていますが、智恵子抄の中の智恵子を歌った作品は、それ自体すぐれていると共に持ち前の美声をおどやかに駆使して、聞く人の心をひきつけずにはおきません。

今後のご購読を心より祈ってお喜びの言葉とします。

——— 藤城文 石井好子(シャンソン歌手)

- 1.あどけない顔・・・詞：高村光太郎 曲：モンデンモモ
- 2.路傍の人に・・・詞：高村光太郎 曲：モンデンモモ
- 3.路下の二人・・・詞：高村光太郎 曲：モンデンモモ
- 4.レモン草歌・・・詞：高村光太郎 曲：モンデンモモ
- 5.宛涼たる舞臺・・・詞：高村光太郎 曲：モンデンモモ
- 6.亡き王女の海のバヴァーズ・・・曲：モーリスラヴェル
- 7.レクイエム' 80'・・・曲：モンデンモモ
- 8.1982年私・・・詞・曲：モンデンモモ
- 9.小さい恋人大きい恋人・・・詞・曲：モンデンモモ
- 10.枯れた花・・・詞・曲：モンデンモモ
- 11.使んでもいいよ・・・詞・曲：モンデンモモ
- 12.私の村の物語・・・詞・曲：モンデンモモ
- 13.二泊三日の大騒ぎ・・・詞・曲：モンデンモモ
- 14.夢橋よ・・・詞：岡田謙太郎 曲：モンデンモモ
- 15.ブーダ・・・詞・曲：モンデンモモ
- 16.夢橋よ 2・・・詞・曲：モンデンモモ
- 17.ナリエ' 80'・・・詞・曲：モンデンモモ
- 18.使んでもいいよ 2・・・詞・曲：モンデンモモ



このCDは、誰もの中にある「憧れ」の歌です。題材は、智恵子抄。

そうです、あの高村光太郎の出版した「智恵子抄」。

でも、私は、この光太郎の詩を通して智恵子さんに憧れたのです。あの時代に、こんなに勇気のある女性がいたという事。どんな運命に振り動かされたとしても彼女は一心に光太郎の愛を受け続けたのです。

それが、針のむしろだとしても・・・、「大きな魚は光太郎・・・小さな魚は智恵子」

そんなにも、人を愛していけるなんて・・・、この世に、肉体として存在しなくなった「亡き王女」これこそ高村智恵子・・・。

そんな、今でも笑っている魂智恵子への歌を作ってみました。

そして、もう一つの題材は、洋画家 鴨居玲さんの生涯と作品からのインスピレーションです。

生涯 白画像しか描かなかった 鴨居さん。真っ白なキャンパスの前に絵筆を持った瞳の無い 鴨居さん。

廻りには、かつて彼が描いてきた作品の主人公が集まっているではありませんか？

「1982年私」

この作品を見て言葉が失った瞬間から私の鴨居玲さんへの憧れが始まったのです。

人間の息使いの間こえる ハンガリーブダベスト録音。

少しの間忘れていた何かをこのCDの中に見つけて下さい。

モンデン モモ・・・今まで無かったオリジナルシャンソンです。



モンデンモモ プロフィール

本名 門田百合子(もんでんゆりこ)東京都出身。日本女子大学付属高校卒業。高校時代アマチュアバンドからパピカの音楽との邂逅の出逢いからクラシック音楽を志し東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。卒業後劇団四季アクターズスタディオ終了。ミュージカル「キャッツ」「サウンドオブミュージック」などに出演。時間を向くしてシャンソンコンクール審査員特別賞受賞。この事をきっかけに「川辺ゆり子」としてパリ、石井好子劇場パリ劇場までレギュラー出演。コンサート、ディナーショー、芝居、オペラ、テレビなど出演。シヤルル・デュモン・ジョイントリサイタル、読売交響楽団共演など。クラシックの録音としてはマタイ受難曲がある。

1992年文部省主催スポーツレクリエーション祭 スポレク賞第 50 の総合特賞式シンフォニー作曲出演。

1993年録音されたオリジナルオペラにて国内及びイタリヤ、ポルトガル、スペイン公演出演。

1994年歌手活動10周年を期に新生「モンデン モモ」としてオリジナルシャンソンをハンガリーブダベスト録音。12月リリース。

1995年3月ドイツツタツツにてカルトワイル音楽祭出演。

後、青森県教育委員会主催 個性尊重型総合講座「ピリオネア大学」のミュージカル講師など、独自の音楽スタイルを持つ。

新たなシャンソンへのアプローチする歌手として注目されている。